



友愛の森(二中だより)

6月

学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和8年6月1日発行



宿泊行事を終えて

5月27日～29日に3年生は修学旅行、1・2年生は自然教室を実施しました。この2つの宿泊行事が、大きな事故やケガもなく予定通り実施することができて本当によかったと胸を撫で下ろしています。本行事にお力添えをいただいた関係各所の皆様、生徒を元気に送り出していただいた保護者の皆様に感謝いたします。

修学旅行を終えて

校長 山元 勝久

私は修学旅行に同行させていただきました。修学旅行の3日間を通して強く感じたことの1つに、「人と関わることの大切さを知っている3年生の姿」です。班長会で旅行中の自分たちの行動を振り返る中で、「ガイドさんが一生懸命話してくれているのに、自分たちはちゃんと聴くことができていないのではないか。もっとガイドさんに反応を返していこう。」という意見が出ました。相手の話をちゃんと聴くこと、自分の考えを相手に返し積極的に関わっていくことは、コミュニケーションにおいてとても大切なことです。

本校が掲げる『コラボレーション力（コラボレーションりょく）』とは、単に“協力・協働する姿”に留まらず、“良さを生かし合う姿”です。ガイドさんが紹介してくれる古都を楽しむための豆知識や歴史、その話をちゃんと受け取り驚きや感想をガイドさんに伝える。こうしたやりとりで修学旅行は更に楽しく、思い出深いものになります。修学旅行に限らず旅行の楽しさは「人との出会い」が大きな部分を占めます。添乗員さん、バスの運転手さんやガイドさん、薬師寺で講話をしてくれたお坊さん（田子浦中の出身でしたね笑）、ホテルスタッフの方、妙心寺で座禅体験をさせてくれたお坊さん、タクシー研修を案内してくれた運転手さん…

修学旅行を通して、普段一緒に過ごしている仲間以外の人に対しても、相手を尊重してお互いの良さを生かし合おうとする姿が見られたことは、本当に嬉しいことでした。これからもその明るさと素直さとコラボレーション力でたくさんの人と良い関係を築き、思い出を増やしていってほしいと思います。

自然教室を終えて

教頭 眞野 元気

自然教室の出発式で、こどもたちに、言葉を大切にするために、「過去ではなく、未来を伝える。」というお話をしました。過去について伝えるということは、過ぎてしまったミスに対しての指摘となり、言葉が厳しくなる傾向があります。一方で、未来について伝えることは、事前にミスを防ぐことができます。伝えた言葉が仲間を、集団を助けることへとつながっていきます。実際のこどもたちの言葉は…

食事準備で気付いた未来についての的確に指示を出してくれた【月嶺さん】、事前に健康カードを忘れないよう呼び掛けて回ってくれた【ななみさん】、レクの移動前に大きな声でベストタイミングで指示を出してくれた【蒼真さん】、キャンプファイヤーの意味を理解し、その後の行動までを成功とするために最高の指示を出してくれた【碧音さん、日菜子さん】、食事の際にちょっとしたユニークさを取り入れて楽しく指示を出してくれた【豪貴さん、空太さん】、施設の方に感謝を伝える際、ありがとうございました、プラスで自分の言葉を伝えてくれた【蓮恩さん】、本当にすばらしかったです。また、2日間を通して、様々なプラスの声が、未来を伝える声が聞こえました。これらを日々の生活につなげることができる1・2年生だと信じています。

「地区生徒会」を行いました。(5月11日)

地区生徒会を開催しました。地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりの第一歩となりました。



修学旅行楽しみだな！



3年生 修学旅行



金閣寺きれいだな！



座禅…緊張するな！



お茶がおいしかった！



2年生 自然教室



おいしいほうとう作るぞ！



明日の改善点について意見はありますか。



カヌーめっちゃ楽しい！



縦割り班でのごはん楽しみ！



